

令和 4年度 支援事業 PTA 活動報告書

1. 申請者

申請代表 団体名	松江市PTA連合会 研修委員会
申請代表 会長名	松江市PTA連合会 石川芳廣会長
連絡先 学校電話番号	0852-55-5286 (委員会担当者氏名:山根博幸)
FAX	0852-55-5543

2. 事業計画

① 事業の名称 研修委員会主催 青木文子講師 講演会 未来の子どもたちに求められる考える力とは?
② 事業実施内容（開催日や参加者等も記載） 講師:司法書士 青木文子講師 プロフィール http://hisureba.com/1day/ 開催日:2023年1月21日土曜日 開催方法:オンライン・会場のハイブリット開催 開催場所:玉湯学園 図書室 テーマ:「未来の子どもたちに求められる考える力とは?」 参加者:PTA役員 保護者 学校関係者 松江市教育長、松江市教育委員 事業参加対象者:PTA役員 保護者 学校関係者 現地 20名 後日録画配信あり PTA連合会の会報誌でお知らせ 各学校へチラシ配布 アンケートも回収予定
③ 成果と課題 松江市PTA連合会の方針「子供の育つ環境の向上に取り組み地域と連携して、教育の街松江を目指す」という方針の下、現在の予測困難な未来社会に対して全校的にICT教育が推進されています。ただしICTは手段であり、学校で学んだことが明日から、そして将来につながるように、子どもたちの学びを進化成長していくことが重要な課題です。これから社会がどんな変化をしても、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現し、明るい未来を、共に創っていくには、自ら考える力が求められます。 この現状を踏まえ、現在行政機関、教育機関、市民フォーラム、上場企業研修などで講演実績のある、司法書士をする傍ら「教える、伝える専門家」一般社団法人日本ノートメソッド協会認定シニアトレーナー 青木文子講師を迎えて、保護者、教育関係者へ「未来の子どもたちへ求められる考える力！」について講演。
講演内容については、これから社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断行動し思い描く幸せを実現するには？ 子供達が、日常でうまくいかないことがある時に、自分で考えるようになった魔法のノート術について公開頂き、明るい未来を創造でき、今日から変わる！今、家庭でやっておいてほしいこと、親ができること、について青木講師の学んできた事とご自身の体験談を交えて講演いただきました。

青木講師からは3つの観点から講演いただきました。

①日本と世界の教育がどこに向かっているのか。②考える力とは？。③質問する力と失敗する力。その中でも③についてご紹介します。

夏休みの読書感想文教室での親子の関わりについて、青木講師の教室では、必ず親子で参加、ルールは2つ、親は子どもに「〇をつける」と、「質問をする」だけ。魔法のノート術で3時間の講座を受けた作文が得意でない小学4年生のお子様が文章をスラスラと書いて、県の最優秀作品に選出されるという結果に。私自身も夏休みの一番やりたくない宿題(ラスボス)で、原稿用紙3枚にと聞くだけで拒絶してました…青木講師の話から小学生の自分を振り返ると、「やり方を教えてもらわずに知らないだけだたんだ」自分1人であらすじをまとめているだけで原稿を埋めているだけでもがいていたなと思い返しました。。。もしあの時にノート術を知っていたら人生が変わっていたかもと感じる時間でした。

最後に青木講師からは、これから時代を生き抜くためには「自分に〇をつける」、そして子ども達が好きなことを熱量を高く、生きることができる環境を持つことが重要とメッセージいただきました。

講演後のアンケートでは、すごく勉強になる、楽しい研修、話が面白すぎてあつという間の研修会でしたというありがたい感想をいただきました。講演の内容については、動画配信いたしますのでお楽しみください、また動画をご覧になられた方は、今後の講演会活動の参考のためにQRコードからご感想をお願いします。

*補足資料添付可。活動写真等ありましたら一緒にご提出ください。